



SANGETSU

株式会社 サンゲツ

第 **63** 期

中間報告書

平成26年4月1日～9月30日

証券コード 8130



株主の皆さまへ

将来の成長に向けた種を蒔く、 サンゲツの「第三の創業」が始まりました。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

第63期第2四半期（2014年4月1日から2014年9月30日まで）の事業概況についてご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

サンゲツは、常に日本のインテリアの発展と共に歩んでまいりました。わが社では、表具師として暖簾を掲げた1849年の創業から1953年の株式会社化までの約100年間をサンゲツの第一期、1953年の株式会社化以降、創業家のリーダーシップのもとトータルインテリアを供給するブランドメーカーとしての地位を築いた60年間を第二期と考えています。そして、社員が経営を担う真の上場企業として成長を目指すこれからの、サンゲツの第三期と位置付け、その経営方針として、中期経営計画2014-2016「Next Stage Plan G」を発表しました。

本計画においては、創業家を中心とした経営体制から、社員が中心となりサンゲツの発展を担う体制づくりを実行していきます。具体的な施策として、事業基盤の整備、事業戦略の再構築、そしてステークホルダーからの評価向上を挙げております。事業基盤の整備においては全組織を抜本的に見直し、人事制度改革やITシステムの再構築を実行します。事業戦略の再構築においては既存のインテリア事業を更に成長・発展させつつ、新たな成長戦略を推進します。そして、ステークホルダーの評価向上策として、さる11月7日に中期経営計画に基づく資本政策の基本方針と当面の株主還元について発表しました。これら3つの具体的施策を推進することにより、さらに次の中期経営計画での成長を実現します。

中期経営計画2014-2016

「Next Stage Plan G」の位置づけ

- ・事業体制を再整備・強化
- ・将来の成長のための仕込みを行い
- ・サンゲツの次のステージを切り拓くことにより、

2016年度 収益目標（連結ベース）

売上高	1,400億円
当期純利益	63億円

を達成します。

将来の成長のための基盤整備に先行投資を行いつつ、史上最高益の更新を目指します。

2014年12月

代表取締役社長 安田 正介

Q1 | 第63期 中間決算業績の総括をお願いします。

当第2四半期（2014年4月1日～9月30日）のわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減や消費の低迷が景気を下押しし、本格的な景気回復を実感し得ぬ状況でした。特にわが社の事業に関連の深い住宅産業や建設業界は、新設住宅着工戸数が今年3月より7カ月連続で前年比減少（2014年11月現在）するなど、需要は減退しています。このような状況の下、当社グループでは施主・設計事務所への営業活動の強化や新見本帳の発刊に加え、非住宅分野への商品開発を積極的に行い、当第2四半期の連結業績は、売上高63,981百万円（前年同期比4.4%増）、売上総利益17,962百万円（同4.7%増）と、前年を上回る増収を実現しました。

しかしながら、事業活動の活発化による物流費、将来の成長戦略の推進の為、人材強化策による人件費や教育研修費、設備修繕費などの販売費及び一般管理費の積み増しを行った結果、営業利益3,924百万円（同4.4%減）、経常利益は4,218百万円（同4.1%減）、四半期純利益は2,156百万円（同19.9%減）となりました。

Q2 | 中長期的な経営方針について教えてください。

中期経営計画「Next Stage Plan G」を進める上で、全社員が自分こそ経営の担い手であるという意識を持ち、各組織で抜本的な見直しと改革を行うことが最も重要なことと考えています。幸い、サンゲツの社員は責任感が強く前向きな人材が揃っており、自分たちが会社を変える良い機会であると、活動を活発化させております。

こうした取り組みを通じ、「Next Stage Plan G」期間中に新規事業、成長戦略に向けた仕込みを行い、2017年から2019年の次期中期計画の最終年度には、ROE 8%～10%を達成することを目標としております。収益力や社会貢献を含めた企業価値の向上を図り、ステークホルダーの皆さまのご期待にお応えしてまいります。

Q3 | 今後の資本政策について教えてください。

従来わが社は、経営基盤の強化を図りながら、安定的な配当を基本方針としてまいりましたが、これに加え今後は資本効率の向上を意識した経営への転換が必要と認識し、新たな資本政策を発表しました。

新しい資本政策の基本方針は以下の3つです。①資本コストを上回るROEの早期実現と、中長期的により高いROE（8～10%）の達成を目指す。②安全と成長の為の資金を確保しつつ、資本効率の向上を計る。③中長期的に持続可能な株主還元策の拡充を行う。

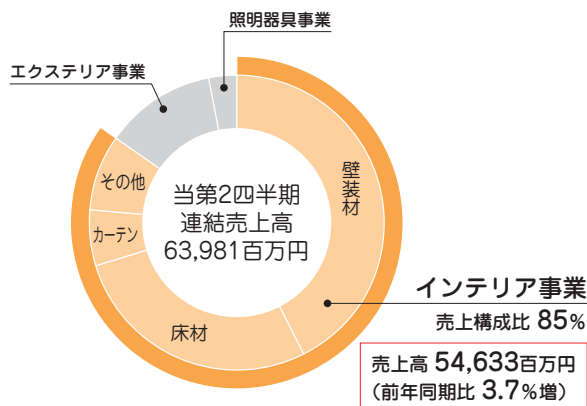
これらの基本方針を基に、当面の株主さま還元策として、次の具体策を立てました。①2014年度より2016年度迄の連結総還元性向を平均100%以上とする。②今後の市場環境を鑑みつつ、平成26年度下期より最短3年間、最長5年間で自己資本金額を平成26年3月末比100億円～200億円の圧縮を目指す。③前述の②を実行する上で、中長期的に株主還元が向上するよう機動的に自己株式の取得、増配を検討・実行する。

わが社の将来のための事業基盤の整備や事業戦略の再構築を実行すると共にステークホルダーの皆さまからの評価向上を意識し、今まで以上に応援していただける企業を目指しますので、引き続いてのご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。



セグメント別の概況

事業別売上構成比

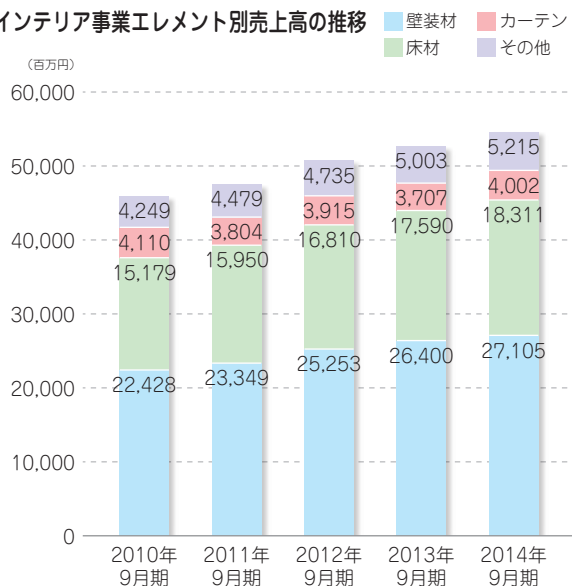


インテリア事業

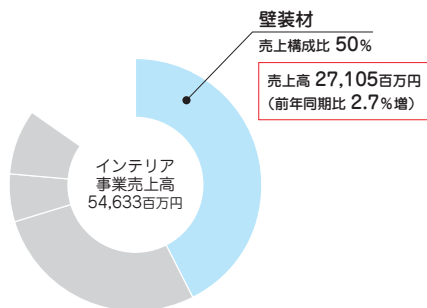
壁装材・床材・カーテンの3事業から成るインテリア事業では、中期経営計画「Next Stage Plan G」に基づき、事業収益拡大を実現するための組織体制を整備し、情報共有、意思疎通を強化すると共に、商品の企画開発力の向上、仕入政策の見直し、マーケティング・プロモーション政策の推進を図っています。

また、消費者のインテリアに対する関心は、ライフスタイルの多様化やワークライフバランスの尊重を背景に高まっています。こうした中で、当社はデザイン性と共に安全性、機能性、そして環境に配慮した住空間へのニーズに応える商品開発に取り組むと共に、新築のみならず、需要が拡大するリフォーム市場や商業施設、オフィスビルに加え、医療・福祉施設といった非住宅分野への注力を行い、耐久性やメンテナンス性の高い商品を拡充しました。施主・設計事務所への営業活動を強化し、これらの新見本帳や既発刊の見本帳収録商品の拡販に努めた結果、インテリア事業における売上高は54,633百万円（前年同期比3.7%増）となりました。しかしながら、事業活動の活発化による物流費や人材強化のための人件費など、販売管理費の増加により、営業利益は3,641百万円（同11.2%減）となりました。

インテリア事業エレメント別売上高の推移



壁装材

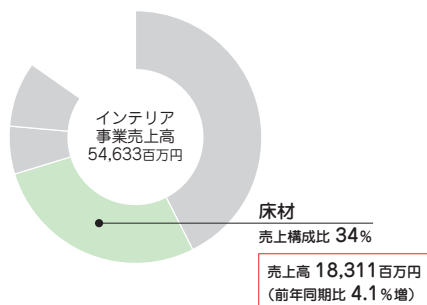


壁装材については、収益性の改善の為、低価格の量産品から中級帯の一般品への転換促進を目的に、部屋のインテリアに好みの“デザイン”や“機能”を“プラスワンポイント”し、暮らしをより快適にする提案を行っています。これに呼応して、4月には主力見本帳「リザーブ」を発刊しました。また、新築住宅着工戸数の落ち込みなどで数量が減少する環境下、壁紙の値上げを実施し、原材料費などの高騰によって低下していた利益率を7月以降改善しつつ、市場シェアも堅持しました。

この結果、壁装材の売上高は27,105百万円（前年同期比2.7%増）となりました。



床材

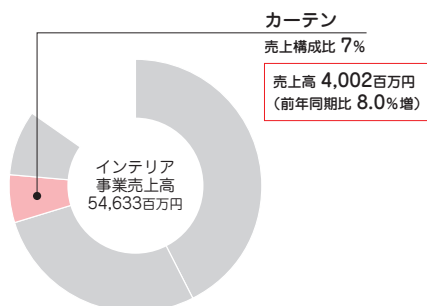


床材については、住宅・事務所・商業・教育・医療・介護など様々な施設で幅広く使用される床材の営業活動の強化の為、新体制のもと、商品ごとの売上状況など細かなデータに基づいた販売戦略の土台づくりに努めました。これに合わせ、住宅用クッションフロアを掲載している「2014-2016 H-FLOOR」、各種施設向け長尺塩ビシートを掲載している「2014-2016 S-FLOOR」の2つの主力見本帳を発刊しました。また、新見本帳での価格政策の見直しと一部商品の9月からの値上げにより、利益率改善に着手しています。

この結果、床材の売上高は18,311百万円（前年同期比4.1%増）となりました。



カーテン



カーテンについては、見本帳戦略・商品開発・プロモーション展開を抜本的に見直し、営業との連携を拡大することにより商品提案力を強化しました。昨年10月に発刊したカーテン見本帳「Mine」の価格政策の見直しにより、長期低迷していた売上は昨年度に続き本年第2四半期も増大しました。また、オーダーカーテンの魅力を訴求する窓辺のコーディネートコンテスト「サンゲツコーディネートアワード2013」を開催、6月に授賞式を行いました。さらに、4月には住宅向け見本帳「Wish」を発刊しました。

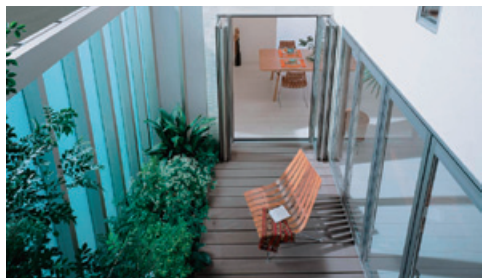
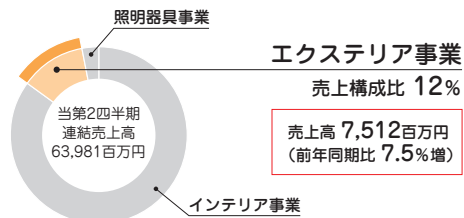
この結果、カーテンの売上高は4,002百万円（前年同期比8.0%増）となりました。



セグメント別の概況

エクステリア事業

事業別売上構成比



◆株式会社サングリーン

株式会社サングリーンは、1973年設立のエクステリア専門商社です。東海4県をメイン商圏として関東地区にも進出、現在16支店を展開しています。

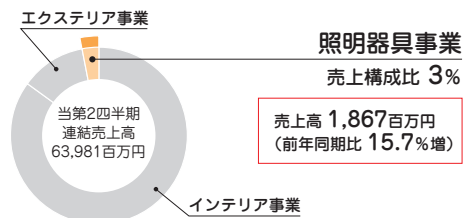
当期においては、主力分野であるフェンスに加えて、カーポートやサンルームなどにおいて売上が前年比伸長しました。また、新たに横浜支店を開設し、関東地区での売上は前年比1.4倍に拡大しています。

この結果、当第2四半期の売上高は7,512百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は260百万円（同24.3%増）となりました。

エクステリア市場は、新設住宅着工件数の減少に伴う市場規模の縮小が予想されています。その一方で、リフォーム市場の拡大が国策として進められる中で、エクステリアはガーデンルーム・ウッドデッキといった生活の「豊かさ」を提案できる商材です。今後も多様な商品の提案力を高め、正確で迅速なデリバリー、施工性の向上を進めると共に、営業ネットワークの強化を行います。

照明器具事業

事業別売上構成比



◆山田照明株式会社

山田照明株式会社は、1946年設立の照明器具専門メーカーです。主力シリーズのZライトは今年発売60周年を迎え、日本で初めてアームライトを製造販売したメーカーとして独自の地位を確立しています。

当期においては、経営ガバナンスの改善、社員のモチベーション向上策を実行しつつ、高齢社会を見据えた医療・介護施設向け商品の充実を図ると共に、注力分野への商品の絞り込みを実行しています。

これらの取り組みを通じ、今期の売上高は1,867百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益は30百万円（前年同期は営業損失207百万円）となりました。

照明業界は、LEDの普及により急速に拡大したものの、競争激化による単価の下落傾向や従来照明（白熱灯・蛍光灯）の縮小により、市場全体の成長には一服感があります。そうした中、非住宅施設分野（医療福祉・宿泊・オフィス・外構等）に向け、自社の強み（機能・デザイン・ソリューション）を活かした付加価値商品の開発と販売を継続していきます。

●コーディネイトの楽しさを伝える情報発信

サンゲツでは、豊富なデザインと機能を持つ商品ラインアップを充実させ、営業活動やショールームを通じたコーディネート提案を行っています。また、テレビCM「壁紙 プラスワンポイント」篇でもインテリアの魅力を訴求しています（「金曜ロードSHOW！（21：00～）」内で放映）。住環境にこだわりを持つお客さまが増えている中で、一人ひとりの暮らしに合わせたインテリアコーディネートへの注目が徐々に高まっており、「ガイアの夜明け」をはじめとした情報番組にも取り上げられました。



テレビCM「壁紙プラスワンポイント」篇

●使用する環境に合わせた商品提案～納品事例のご紹介～

CASE.1 東京国際空港ターミナル（東京都）

特に高いオリジナリティ、意匠性を演出したい空間向けにご採用いただいているのが、「CJ（コンピュータージェットプリント）」の技術を用いた床材です。日本最大級の利用者・歩行量を誇る東京国際空港ターミナルでは、高い耐久性やキャスターなどの走行性、汚れた部分だけを取りかえることのできるメンテナンス性といった機能面に加え、建築コンセプトに応えるデザイン性を実現するために、CJ特注タイルカーペットを納品させていただきました。ご相談と試作を繰り返して創り上げたタイルカーペットは、意匠表現や耐久性を含めたクオリティについて、高い評価をいただいています。



東京国際空港ターミナル ゲートラウンジ

CASE.2 下呂温泉病院（岐阜県）

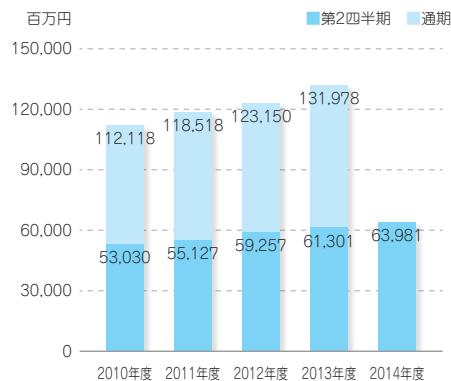
床材における注目ワードの一つが「美観維持」。より永く美しくご使用いただくために、利用環境に合わせた機能性商品をご提案しています。地域に根差した「生活の場の医療」を目指す岐阜県 下呂温泉病院では、メンテナンス性と共に耐久性や転倒防止性が求められる病棟部門に「＜複層＞イーザーメンテナンスタイプ」、メンテナンスコストの削減と衛生面を重視した外来部門には「＜単層＞ノーワックスタイプ」と、ご予算や使用箇所に応じた床材を採用いただいています。温かみのある木目調の意匠や、豊富なカラーバリエーションにもご満足いただきました。



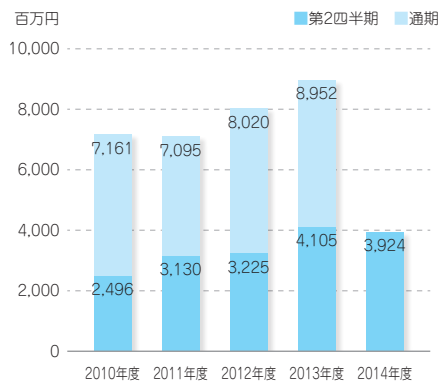
下呂温泉病院 受付

業績の推移（連結）

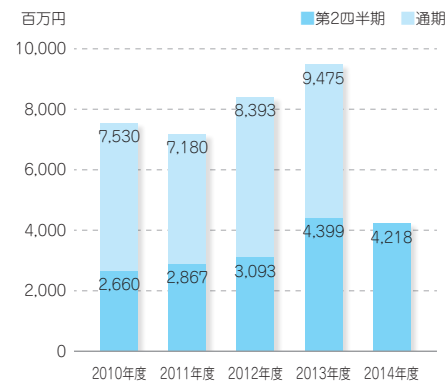
売上高



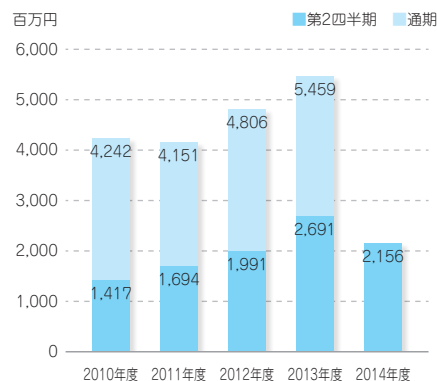
営業利益



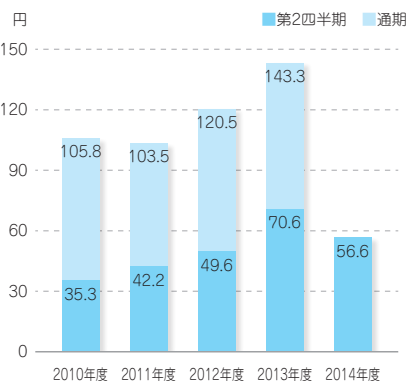
経常利益



四半期（当期）純利益



1株あたり四半期（当期）純利益



連結主要財務指標

	2010年9月期	2011年9月期	2012年9月期	2013年9月期	2014年9月期
売上高経常利益率（％）	5.0	5.2	5.2	7.2	6.6
自己資本当期純利益率（％）	1.2	1.4	1.7	2.3	1.8
自己資本比率（％）	87.0	86.2	85.9	85.4	83.9
流動比率（％）	644.8	612.6	617.1	554.9	572.8

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

区 分	期 別	前第2四半期末 (2013年9月30日現在)	当第2四半期末 (2014年9月30日現在)	前期末 (2014年3月31日現在)
（資産の部）				
流動資産		92,085	100,386	91,313
固定資産		47,753	43,946	54,590
<有形固定資産>		28,567	29,737	30,304
<無形固定資産>		325	340	346
<投資その他の資産>		18,859	13,868	23,938
資産合計		139,839	144,333	145,903
（負債の部）				
流動負債		16,594	17,524	20,914
固定負債		3,835	5,661	5,101
負債合計		20,430	23,186	26,016
（純資産の部）				
株主資本		117,327	119,038	118,667
資本金		13,616	13,616	13,616
資本剰余金		20,005	20,005	20,005
利益剰余金		88,294	90,005	89,633
自己株式		△ 4,588	△ 4,589	△ 4,588
その他の包括利益累計額		2,080	2,108	1,220
その他有価証券評価差額金		2,080	2,745	1,907
退職給付に係る調整累計額		—	△ 636	△ 687
純資産合計		119,408	121,147	119,887
負債純資産合計		139,839	144,333	145,903

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

区 分	期 別	前第2四半期 (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)	当第2四半期 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)	前期 (2013年4月1日から 2014年3月31日まで)
売上高		61,301	63,981	131,978
売上原価		44,139	46,018	95,922
売上総利益		17,161	17,962	36,055
販売費及び一般管理費		13,056	14,037	27,102
営業利益		4,105	3,924	8,952
営業外収益		301	316	535
営業外費用		7	22	12
経常利益		4,399	4,218	9,475
特別利益		6	0	29
特別損失		19	880	47
税金等調整前四半期(当期)純利益		4,386	3,338	9,458
法人税、住民税及び事業税		1,822	1,504	4,284
法人税等調整額		△ 127	△ 322	△ 286
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益		2,691	2,156	5,459
四半期(当期)純利益		2,691	2,156	5,459

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

区 分	期 別	前第2四半期 (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)	当第2四半期 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)	前期 (2013年4月1日から 2014年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー		6,385	3,591	7,878
投資活動による キャッシュ・フロー		△ 2,113	1,433	△ 5,477
財務活動による キャッシュ・フロー		△ 1,584	△ 1,441	△ 3,025
現金及び現金同等物 に係る換算差額		51	0	0
現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)		2,739	3,583	△ 624
現金及び現金同等物 の期首残高		12,957	12,333	12,957
現金及び現金同等物 の四半期末(期末)残高		15,697	15,917	12,333

会社概要（2014年9月30日現在）

社 名	株式会社サンゲツ（SANGETSU CO.,LTD.）
設 立	1953年4月21日（創業嘉永年間）
資 本 金	136億1,610万円
事 業 内 容	壁紙、カーテン、床材、椅子生地などトータルインテリア商品の開発・販売
上場証券取引所	東京1部、名古屋1部

役員の状況（2014年9月30日現在）

代表取締役会長	日 比 祐 市
代表取締役社長	安 田 正 介
専 務 取 締 役	日 比 東 三
常 務 取 締 役	田 中 三千春
取 締 役	上 原 健
取 締 役	志 水 済
取 締 役	大 石 親 宣
取 締 役	佐々木 修 二
取 締 役	古 角 保
常 勤 監 査 役	内 林 利 幸
常 勤 監 査 役	田 島 貴 志
監 査 役	那 須 國 宏
監 査 役	米 山 一 也

株式の状況（2014年9月30日現在）

発行可能株式総数	159,000,000株
発行済株式の総数	40,188,240株
株主数	5,176名

株価の推移

（単位：円）

年月 株価	2014年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高	2,738	2,709	2,755	2,819	2,890	2,908
最低	2,441	2,494	2,611	2,651	2,618	2,724

大株主の状況（2014年9月30日現在）

株 主 名	持 株 数	持株比率
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	3,487 千株	9.1 %
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ ユーエス タックス エグゼクティブズ ペンション ファンズ	2,034	5.3
ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) アカウント ノン トリーディー	1,394	3.6
日本トラスティ・サービス信託銀行 ㈱ (信託口)	1,366	3.5
日 比 祐 市	1,202	3.1
日本マスタートラスト信託銀行 ㈱ (信託口)	1,109	2.9
日 比 麻 友 美	1,058	2.7
日 比 雅 喜	1,058	2.7
㈱ 三菱東京UFJ銀行	1,041	2.7
㈱ 大垣共立銀行	1,032	2.7

（注） 1. 当社は自己株式2,089千株を所有しておりますが、上記の大株主から除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して算出してしております。

株式会社 サンゲツ 事業所一覧

<http://www.sangetsu.co.jp/>

【支社】

● 本社／中部支社

〒451-8575

愛知県名古屋市中区西区幅下1-4-1

TEL：052-564-3111

● 東京支社／法人営業部

〒140-8611

東京都品川区東品川3-20-17

TEL：03-3474-1181

● 北関東支社

〒340-0002

埼玉県草加市青柳1-6-39 草加物流センター5F

TEL：048-933-1881

● 関西支社

〒660-0857

兵庫県尼崎市西向島町111-4

TEL：06-6414-3311

● 北海道支社

〒003-0011

北海道札幌市白石区中央一条2-1-37

TEL：011-832-3111

● 東北支社

〒984-0031

宮城県仙台市若林区6丁目字南98-1

TEL：022-287-3765

● 中国四国支社

〒701-0301

岡山県都窪郡早島町矢尾836

TEL：086-292-3300

● 九州支社

〒812-0892

福岡県福岡市博多区東那珂1-11-11

TEL：092-441-5181

【支店・営業所】

● 横浜支店

● 北東北営業所

● 福島営業所

● 東関東営業所

● 多摩営業所

● 厚木営業所

● 前橋営業所

● 宇都宮営業所

● 新潟営業所

● 水戸営業所

● 長野営業所

● 岐阜営業所

● 岡崎営業所

● 北陸営業所

● 静岡営業所

● 浜松営業所

● 京都営業所

● 神戸営業所

● 東大阪営業所

● 南大阪営業所

● 姫路営業所

● 広島営業所

● 四国営業所

● 北九州営業所

● 熊本営業所

● 南九州営業所

ショールームのご紹介

本社のある名古屋をはじめとして、東京、大阪、岡山、広島、福岡にショールームを開設しています。商品を直接見て、触れていただくことで、お客様の理想のインテリアを一緒に実現させていただいています。

● 名古屋ショールーム

〒451-8575

愛知県名古屋市中区西区幅下1-4-1

TEL：052-564-3225

● 東京ショールーム

〒107-6003

東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル3F

TEL：03-3505-3300

● 大阪ショールーム

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田2-5-25

ハービスOSAKA 4F

TEL：06-6347-9110

● 岡山ショールーム

〒701-0301

岡山県都窪郡早島町矢尾836

TEL：086-292-3300

● 広島ショールーム

〒730-0842

広島県広島市中区舟入中町2-28

TEL：082-233-3815

● 福岡ショールーム

〒812-0892

福岡県福岡市博多区東那珂1-11-11

TEL：092-441-9500



グループ会社一覧

● 株式会社サングリーン

<本社>

〒463-0054

愛知県名古屋市中区山崎小六町21-1

TEL：052-791-5811（代表）

FAX：052-792-5596

● 山田照明株式会社

<本社>

〒101-0021

東京都千代田区外神田3-8-11

TEL：03-3253-5151（代表）

FAX：03-3255-3078

株式事務についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
剰余金の配当の基準日	期末配当	3月31日
	中間配当	9月30日
定時株主総会	6月	
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）	
公告掲載方法	公告掲載URL http://www.sangetsu.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によっ て電子公告による公告をすることができない 場合には、日本経済新聞に掲載いたします。	

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱ＵＦＪ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱ＵＦＪ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱ＵＦＪ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱ＵＦＪ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱ＵＦＪ信託銀行本支店でお支払いいたします。